

# 腎臓内科

## 研修の特色

腎臓内科では腎疾患診療全般に対する研修を行う。先に述べたとおり当院では腎移植を除く腎疾患診療についてほぼすべてに対応している。救急外来、一般外来、透析室、一般病棟、ICUなど様々な場所で腎疾患患者について、主治医あるいは担当医として担当することを通じて実践的な研修が行える。診療を行う中で、医師患者関係の確立、診察や検査の方法、その結果の解釈や診断、治療方法について必要時は指導医とともにあるいは指導を受けながら研修できる。



## 専攻医からのメッセージ

当院の魅力は幅広く腎疾患に携われることです。急性～慢性の腎疾患について担当し、腎不全に関しては保存期・導入期・維持透析期にわたって、血液透析・腹膜透析ともに学べます。シャント造影や経皮的血管拡張術は毎週実施する機会があり、それに加えてシャント閉塞などの緊急時の対応も行っています。3次救急指定病院であり各科の連携も密であることから、集中治療室における重症例への腎不全管理や透析依頼にも対応しており幅広い経験を積むことが出来ます。週1回の定期カンファレンスでは、若手も自由に発言できる雰囲気があり、上級医とのディスカッションを通じて疾患の治療方針のみならず全人的な観点からのフィードバックも受けられます。腎臓内科医として、また内科医、医師としても素晴らしい研修が出来ると思います。アットホームな雰囲気の陶生病院腎臓内科に是非一度見学に来てください。